



同窓会だより

第 33 回
令和 4 年 3 月
発行 呉高専同窓会

校長あいさつ

コロナ禍での 学生達の活躍

校長 篠崎 賢二



(2022年1月執筆)

2021年度になっても新型コロナウイルス感染は終息せず、むしろさらに勢いを増しておりましたが、4月には無事に入学式を実施し、新入生を迎えることができ、昨年と異なり、対面での授業を開始しました。5月半ばに全国的に緊急事態宣言が発出されましたので、オンライン授業と対面での実験・実習・卒業研究に切替えました。7月には1年延期された「東京オリンピック2020」が、無観客で開催されたものの日本人選手の活躍が素晴らしく、連日のメダル獲得ラッシュに日本中が湧きました。一方、この頃から再び新型コロナウイルス感染者も増加しはじめましたが、8月初旬から夏季休業になりましたので学生の感染を防ぐことができました。

7月には中国地区高専体育大会も開催(一部の競技は10月に延期)されました。8月下旬の全国高専体育大会は、ほとんどの競技が延期となりましたが、テニスと陸上競技は予定通り開催され、本校の成績は、テニスは男子団体戦で準優勝、男子個人戦シングルスで3位、また、陸上競技も女子走り高跳びで3位、さらに、12月に延期された水泳部の全国大会では、男女とも個人種目で2位であり、素晴らしい結果を出してくれました。10月初旬から急激に新型コロナウイルス感染者

が減り、感染予防対策を徹底しながら、久しぶりに通常の学校生活を送ることができるようになりました。10月中旬に高専ロボコンの中国地区大会でBチームが満点で5年連続全国大会出場を果たし、11月下旬、国技館での全国大会では、見事、2009年以來の2回目の準優勝に輝きました。また、12月初旬には、「第18回デザコン2021 in 呉」をオンラインと対面を併用して呉高専で開催し、全国から多くの参加者が集まりました。学校内でデザコン大会を行うのは初めてで、学生、教職員が協力して感染者も出さず実施できたことは、誇らしいと思います。また、構造デザイン部門において呉高専のチームは審査員特別賞を受賞し、6年連続入賞となりました。

以上のように、学生達は、コロナ禍で登校制限が続いた中、オンライン授業を受けつつ、練習や各種コンテストの作品作りに十分な時間が取れなかったにもかかわらず立派な成績を残しました。是非、学生達を褒めていただきたいと思います。学生達の活躍は、本校のホームページの「高専日記」に逐一掲載していますので、是非、お時間のあるとき見ていただければ幸いです。

残念ながら、2022年1月、広島、山口、沖縄県から全国的に再び感染者が急増し始めましたので、これからの入学試験、卒業式を無事終えることができるよう願っています。

私事ながら、3月末で定年退職となります。在職期間は、3年間でしたが、呉高専の学生の優秀さを実感しました。今後も学生達の力をさらに伸ばせるようなモノ、場、人の支援が必要だと思います。それには同窓会のご支援が是非とも必要ですので、引き続き呉高専、学生達へのご支援をいただければ幸いです。3年間、お世話になりました。

『デザコン2021 in 呉』開催

デザコン2021 in 呉実施統括責任者
建築学科 間瀬 実郎

2021年12月4日に、全国高等専門学校連合会主催のもと、第18回全国高等専門学校デザインコンペティション(デザコン2021 in 呉)が呉高専を会場として開催されました。デザコンはロボコン、プロコンと並ぶ高専生の競技



で、4部門(構造デザイン部門、空間デザイン部門、創造デザイン部門、AMデザイン部門)、ならびにプレデザコン部門の計5つそれぞれの分野にわかれ、全国の高専生と教

員約400名が呉高専に集まり競技が繰り広げられました。新型コロナウイルス感染拡大防止による入場制限が一部ありましたが、参加した熱心な高専生の活躍のもと、盛大のうちに閉会できました。構造デザイン部門では、呉高専チームは審査員特別賞を受賞しました。空間デザイン部門では呉高専の4チームが本選出場もしました。今年の12月には有明高専(福岡県大牟田市)において第19回全国高等専門学校デザインコンペティションが開催される予定となっております。



『呉高専同窓会遠隔授業データ通信料補助事業』について

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の対策として、呉高専でも一部または完全オンライン授業で対応していますが、この際、通信費が大幅に増大する学生が出てくる懸念があります。

そこで、呉高専同窓会では、在学生への支援の一つとして、オンライン授業で通信費が大幅に増大する学生を対象に、

本年度より通信費の一部を補助する事業を始めさせて頂きました。

本年度の補助実績はほとんどありませんでしたが、この事業は継続していく予定です。同窓会員の皆様、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

副会長あいさつ

副会長 坂口 智三 (機械工学科28期)

同窓生のみなさま。副会長二期目の坂口です。コロナ禍となり2年が経過しました。コロナが蔓延してから行動範囲が狭くなり、出来る事が限られてきました。しかし新しい生活様式としてテレワークやWebミーティングなど新たな仕事の仕方でも定着し、ただでは起きない人類の臨機応変さに驚嘆している今日この頃です。

私ごとですが、昨年娘が二十歳を迎え、今年行われるはずだった成人式が延期、少し前では高校の卒業式や大学の入学式も人

数制限や中止と軒並み家族で祝う行事も無くなり残念な思いですが、県外で一人暮らしをしている娘はさほど気にせず多くの友達を作り大学生活を謳歌している様子。親の知らない所でも子供は新たな場所で交友関係を広げ力強く今できる事を楽しんでいる様子を知り子供の成長を感じました。

そんな娘に負けじと私も休日には10~15km程度のランニングを趣味として体づくりをしています。皆様におきましては体に留意されご活躍されることお祈り申し上げます。



副会長あいさつ

コロナ過にあって 人との繋がりに思うこと

副会長 中山 智司 (電気工学科16期)

直近の同窓会総会から2年が経ちました。その際には、皆さんが気軽に集まれる様な同窓会としての支援策「小さな同窓会」活動の試行・検討が行われることになりましたが、想

定もしていなかった世界中の移動制限等により、人との繋がりが大きく変わる世の中となり、活動の遅れにもどかしさを感じます。一方で、リモート講義やテレワークという、以前からアイデアはあってもなかなか一般に広まることの無かったスタイルが、すっかり当たり前となりました。企業活動の中でも商談、展示会や保守点検等が広くネットに繋がれた端末上で行われるようになりエンジニア各位の技術貢献は誇れることだと思います。物の繋がりを超えて人々の繋がりを助ける技術は、命を守る医療の分野と共に今後も必要とされ続けることでしょう。そうは言いますが、直接話したり触れたい場面が無くなることは無いでしょうし、リアルに会える日はそう遠く無いことを信じて「小さな同窓会」活動が進むことを願っています。

学科だより

人文社会系分野の近況

人文社会系分野代表 木原 滋哉

今年度、人文社会系分野の大きな変化は、昨年度末に国語科の外村彰先生が退職されたのに伴い、福田涼先生を新たに迎えることになりました。福田先生には、すでに新風を吹かされていますので、楽しみです。また、今年度末に私が定年退職を迎えることは既定のことですが、残念なことに、英語科の富村憲貴先生も退職されることになりました。富村先生には、

英語教育のみならず、吹奏楽部での指導など多大な貢献をされて、学生や同僚教職員からの信頼も厚かったことはここに書くまでもないと思います。

このように人文社会系分野でも教員の顔ぶれは少しずつ変化していますが、新型コロナウイルスの影響を受けて、今年度もオンライン授業を実施せざるを得なくなりました。オンライン授業への対応、授業の準備に相変わらず右往左往する一年だったわけですが、これをきっかけにして、学校教育現場も変化することになると想像しています。まだまだ新型コロナウイルス問題への対応で手一杯ではありますが、ここから新しい教育のあり方が模索され、誕生するだろうと期待しています。

自然科学系分野の近況

自然科学系分野代表 笠井 聖二

卒業生の皆様におかれましては各界でご活躍のことと存じます。

自然科学系分野のこの1年についてご報告いたします。

まず、最初に教員の異動です。物理担当の小林先生が、高専機構の推進するタイ高専プロジェクトに参加され2年間タイ高専に出向されました。2023年度には本校に戻れる予定です。その間の物理授業担当として小倉和幸先生が赴任されました。小倉先生は、宇宙物理学が専門で、主に1~3年生の物理の授業を担当されます。また、退職後嘱託教授として勤務された森貞雄先生が昨年度末で任期満了となりました。今年度は、非常勤講師として1年間だけ更に授業を担当されておられます。

今年度の学校生活は、やはり新型コロナウイルス感染症の

流行状況にあわせ落ち着かないものとなりました。授業では、学生・教職員とも遠隔授業にも慣れ、対面と遠隔を臨機応変に切り替えながらの授業にも比較的スムーズに対応できるようになりましたが、授業以外の活動などへの対応はまだ十分でなく影響が大きかったように思います。本校では科学啓蒙活動の一環として電子ジャーナル「Science」を購読しています。この2年間で利用が大幅に減少してしまいました。電子ジャーナルは学内のネットワークからの閲覧が必要であり、学生が学校にいる時間が減ったことが一つの大きな要因だと思われませんが、教員からの利用のはたらきかけも十分でなかったと反省しています。遠隔教育の実施により、チャットなどで学生と直接連絡をとることも日常的になってきました。この環境を活かせば、学生に対してもっと「科学」についての情報発信ができたのではないかと考えています。今、新たな情報発信の準備を進めています。1年後には、皆さまに良い結果を報告できればと思います。

最後になりましたが同窓会会員の皆様方のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

機械工学科の近況

機械工学分野代表 **高田 一貴**

機械工学科の卒業生の皆様におかれましては、各界でご活躍のことと存じます。本校機械工学科の就職、インターンシップ等における教育支援等で多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度は教授6名(岩本：医療福祉工学、高田：熱流体工学、中迫：機械要素、西坂：金属材料、野村：流体工学、水村：塑性加工)、准教授3名(上寺：構造最適化、山田：制御工学、吉川：CAD技術)、助教2名(國安：金属疲労、野波：CAE構造最適化)の11名体制で教育・研究にあたっています。なお、再雇用期間を満了された尾川元教授は非常勤講師として引き続き教鞭を執っておられます。

本科学生在籍数は現在、1年生45名、2年生40名、3年生39名、4年生37名、5年生45名、機械系専攻科1年生8名、2年生8名となっております。本科の女子学生数は13名であり、他学科と比べて比率は少ないですが少しずつ機械に関心を持つ女子学生が増加しています。

5年生および専攻科2年生の就職・進学状況は別表のとおり

りです。今年度は本科生就職25名、進学20名、専攻科は8名全員就職となりました。求人につきましては昨年に引き続き感染症の影響が懸念されましたがおかげさまで昨年と同程度の求人企業数となりました。これも機械工学の裾野の広さに加えて卒業生の皆様のご活躍の賜と存じます。今後も就職につきましては何卒ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

今年度は機械工学科の全面的な改修工事が行われ、窓枠が全て入れ替わり、実験室、教員室もリニューアルされました。半年あまりの工事期間中は学生のホームルームも教員室も他の場所に移動するなど不便を強いることとなりましたが、来年度より新たに生まれ変わった学び舎で学校生活を充実させていただきたいと願っております。

今年もコロナウイルス感染症の影響により多くのイベントがオンライン開催または中止になりましたが、多くの機械工学科学生が関わっているロボコンについては中国大会優勝(オンライン開催)、感染症の合間を縫って国技館でリアル開催された全国大会では準優勝を飾り、制約された条件の中で学生は力量を如何なく発揮してくれました。

最後になりましたが、感染症の影響が早期に終息することを祈念しつつ、同窓生の皆様のご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

電気情報工学科の近況

電気情報工学分野代表 **藤井 敏則**

E科卒業生の皆様におかれましては益々のご清栄のことと存じます。本年度の近況をご報告致します。今年度も昨年度に引き続きコロナウイルスの影響で、オンラインによる遠隔授業の実施もございましたが、学生を中心とした研究活動が精力的に行われました。専攻科1年の岩本孝太君がリーダーとして申請した「筭自動採掘ロボットと生育データ蓄積による農業継承システム」が、2021年度総務省主催高専IoTコンテストの提案課題として採択されました。また、2020年上記コンテストの採択課題の成果が「防災技術大賞」を受賞しました。また多くの学生が学会発表を行

い、学生による学会賞の受賞、研究奨学金・研究助成金などを受けております。

教員の動きとしましては、4月1日付で、横沼実雄先生が教授に昇任されました。横沼先生は、学生教育のほか、超音波スピーカーによる視覚障害者歩行支援機器開発などの研究活動や公開講座(エジソンスクール)などの地域貢献を推進されています。また、服部佑哉先生が准教授として着任されました。服部先生は、線虫などの微生物を模倣したロボットやニューラルネットワークなどの分野で活躍しております。一方で、本校電気工学科OB(11期生)である、田中誠先生が令和4年3月に定年退職されることになりました。先生には来年度から再雇用で、引き続き電気情報工学の教育をご担当頂くこととなります。

最後になりましたが、同窓会会員の皆様のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

環境都市工学科の近況

環境都市工学分野代表 **重松 尚久**

土木工学科および環境都市工学科の卒業生の皆様におかれましては、各界で益々ご活躍のことと存じます。また、日頃から本校の教育・研究に多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和3年度の環境都市工学科は、3月をもって助教の姜叡先生が任期満了で退職され、4月から高専機構本部へ出向されていた加納誠二先生が戻ってこられ、教授7名、准教授3名の10名体制でスタートしました。

資格試験においては、技術士一次試験を多くの学生が積極的に受験しています。また、2級土木施工管理者試験の学科試験においても多くの合格者を出すことができました。今後も積極的に資格にチャレンジしてもらいたいと思います。

学生の進路につきましては、本科卒業予定者41名のうち、就職が21名(51%)、進学が20名(49%)でした。就職先は、国土交通省、広島市、呉市などの公務員に5名、電力やガスなどの公

益企業4名、大成建設や五洋建設などの建設系企業9名、NEXCO西日本エンジニアリング中国などの建設系コンサルタントに2名、メタウォーター1名で、ほぼ例年通りの傾向でした。進学先は、九州大学1名、北海道大学1名、熊本大学1名、広島大学1名、長岡技術科学大学5名、本校専攻科8名、専門学校2名でした。また、専攻科修了予定者は7名で、進路は、防衛省などの公務員に3名、川田建設などの建設系企業2名、いであ株式会社などの建設系コンサルタントに2名でした。コロナウイルスの影響からオンライン面接などこれまでのものと大きく変わる点もありましたが、公務員の内定は遅いもので10月でしたが、民間志望者は夏までには全員内定いただきました。来年度も今年度と同様な日程で就職活動を行いますので、声を掛けていただきますようお願いいたします。

今年度は、資格対策講座と製図室のPCの導入に、土木工学科創設50周年記念基金を使わせていただきました。今後も学生の学習支援に使わせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、同窓生の皆様のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。

建築学科の近況

建築学分野代表 **篠部 裕**
(建築学科15期)

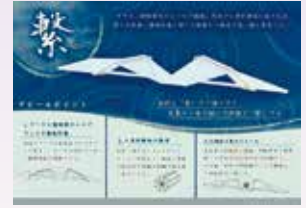
今年度の建築学科の大きな行事としては第18回全国高等専門学校デザインコンペティションがあり、本校を主管校として2021年12月3日～4日に呉高専体育館などで開催されました。

構造デザイン部門においては、藤野凌雅(建築学科5年)、脇田美礼優(建築学科4年)、岩谷香里(建築学科3年)、笠江真雪(同)、築山綾花(同)、柳井美咲(同)の6名の作品「繫」が審査員特別賞を受賞しました。構造デザイン部門の本校建築学科の学生の入賞は、今年で「6年連続」となります。

一方、空間デザイン部門は、建築家の三分一博志先生、土井一秀先生、前田圭介先生の3名を審査員に招き実施しました。学生は夏休みにしっかりと取組み、予選応募数143作品、予選通過12作品の中で呉高専は4作品が予選を通過し本選出場を果たしました。残念ながら本選での入賞は逃しましたが、本選出場の経験は今後の学生の大きな財産になると思います。

学生の進路については、令和3年度の建築学科の卒業予定者(45名)は、就職が21名、進学が22名、その他2名となっています。また専攻科の建築系修了予定者(2名)は、2名とも大学院進学となっています。

今年度のコロナ禍の中、就職採用面接、大学編入学・大学院入学試験など色々と大変であったと思いますが、新しい進路先での活躍を期待しています。



「繫」作品紹介ポスター



構造デザイン部門本選メンバー



定年退職にあたって

人文社会系分野 教授 **木原 滋哉**

ちょうどバブル経済がはじけた頃に呉高専に赴任して以来、二十数年にわたって在籍することになりました。呉高専にもっと貢献することができたのではないかと思います。少なくていいのですが、無線部メンバーといっしょに野呂山でキャンプをしながら、無線コンテストに参加したことなど他ではできないことを経験させてもらいました。

呉高専に赴任した頃、呉高専創立の頃をご存じの先生方も少なくありませんでした。呉線にはまだ蒸気機関車が走っていたなども聞いたことがあります。そうした先生方は、急速な科学技術発展のかたわらで、工学教育にあたられていたわけですから、今もって驚くばかりです。

私かというと、科学技術の発展、それに対応する呉高専の変化を目の当たりできたことは大きな喜びでしたが、現在、オンライン授業の実施など、社会も呉高専もさらに大きな変化にさらされており、新たな技術発展の胎動を感じてワクワクしています。今はまだ想像さえできないくらい科学技術の発展とともに呉高専自体もどのように発展していくのか、楽しみでしかありません。

呉高専から社会へ 飛躍する皆さんへ

機械工学分野 教授
西坂 強



赴任して早9年目となり63歳の定年退職を迎え、同窓会よりお声掛けがありましたので、少しお時間を頂き、旅立つ呉高専生へ、先輩からの志のタスキを文章として渡せたらと思います。

私は新居浜高専金属工学科を昭和54年3月に卒業後、国鉄の鉄道技術研究所から企業の研究開発・経営管理を約35年経験させて頂き、その間、家庭環境にも恵まれ若い世代に技術士(金属)、学士(教養)、博士(工学)を取得し、最後の仕事として、高専の後輩たちに社会へ旅立つ際に、高専卒の社会人としての志を伝えられたらと思います。赴任してまいりました。

高専は国立大学工学部よりも多い専門教育を学齢20歳までに行い、加えて現場で実践できる高等教育になっているため、企業や大学(学部編入、大学院)で非常に高い評価を受け期待されています。その成果が現在では、高い求人倍率(20~40倍)と国立大学工学系への進学率として実績がつくられています。これは創立後60年間の高専卒の先輩達の努力によるもので、この環境を継続する為には今後卒業する君達もその後任となり、社会で活躍することで継続して貢献していくこととなります。

私が高専生の時、授業で学んだことは、知識のインデックス

で、より深く理解し実践する際の道筋を教えて頂いたと思うようにしています。社会人として学力不足を痛切に感じた際は、学生の時にもっと勉強をしていたらと何度も思ったことはありますが、今を変えないと対応できないので、今実行する考えを持つようにすると、沢山のアイデアと情熱がでてきました。

社会は君達に期待をしています。自分が成りたい将来像を確り設定し、その内容に沿った目前の課題解決を実行していくと厳しく高いハードルが、いつの間にか超えている自分がいましますよ。面白いもので、厳しいと思っている内容が実行しているときは楽しいものです。

呉高専もこの10年で、文武両道と自らが何かを行うと言う2つの精神が学生達にも教職員にも成長していると思います。社会に出ると、色々な競争がありますが、自分で設定する将来像(幾ら修正してもOK。今は年単位で見直した方が良くもありません)を確実に実行するために、相手(同僚、後輩、先輩、上司、関係先等)に理解され、協力してもらえるように、日常から確りとした人としての行動が必要となります。難しいことはありません、まず、相手に気持ちを込めて挨拶をし、誠実な対応で実行して行けば、競争相手とも共有できる何か芽生えてきます。君達はできる、期待しています。

最後に、呉高専の教員として9年間楽しく勤めさせて頂き、入職時の志がどの程度できたかはよくわかりませんが、この間、学生達のお陰で授業、クラブ活動、学生指導等について個性を生かして実施させて頂きました。また、教職員の皆様、後援会の方々の温かいお力添えで遂行できたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

定年退職に あたって

電気情報工学分野 教授
田中 誠
(電気工学科11期)



私が呉高専に入学したのは創立 10 周年の 1974 年で、50 年近くも前になります。産業界の強い要請で誕生した高専も、オイルショック（1973 年 10 月に勃発した第 4 次中東戦争の影響）で入試倍率も低下し、ひどい就職難がはじまりました。その頃の高専というのは大企業に就職し、そこで忠実に働く「企業人」を育てるための教育機関のようでした。すでにその頃、その役割は終わっていたように思います。

卒業後大学に進学して、大学は成績評価が厳密であると思いましたが、ちゃんとわかるまで勉強しないと単位を取らせてもらえない。生まれて初めて勉強したのはこの頃からです。また、卒業研究は時間をかけて丁寧に育てられていると感じました。

県内の私立大学に務めた後、教員として再び呉高専に通う

ようになったのは 2005 年で、卒業して 26 年たっていました。電気情報工学科と学科名は代わっていましたが、教えている内容はあまり代わっていませんでした。座学については、電気・電子系の大学や高専の学ぶべき内容はそれほど変わるものではないのですが、学生実験が私の学生の時と同じ内容の、電気主任技術者認定校向けの（手書きの）テキストだったのには少し驚きました。

これを何とかしようと実験の改革に取り組むことにしました。真に優れた人材の育成には卒業研究での成長が重要と考えて、実験実習はそのための素養を養う内容であること、マイコンを核としたデジタル技術を豊富に取り組みすること、そして何より、学ぶことの意欲がわくような面白さを体験することを目標にしました。効果があったかといえば、卒業研究を積極的に取り組み成長してくれた学生も少なからずいました。一方でプログラミングを友人からのコピーで済ます学生も大勢いました。「他者からの評価を恐れる一方、自分自身で成長、発達のために学ぶことの意欲がない。」のが日本人の特徴らしく、呉高専だけの問題ではないのですが、私の時間はもう無くなりました。呉高専が「世の中の改善のために働きかける真の意味の技術者」を育成する教育機関となるよう頑張りたいと思います。

卒業生の近況

建築学科の卒業生の近況



30年強

建築学科22期 篠崎 英之

1990年3月に建築学科を卒業し、早30年強が経過しました。バブル崩壊直前に社会へ出た我々にとって、良い時代は瞬きする間に過ぎ去り、長らくの低空飛行を経てやっと景気が良くなったかと思ったらリーマンショックに打ち落とされかけ、今またコロナ禍にやられかけています。荒波に揉まれ続ける社会人生活ですが、施工管理～店内部門を経て現在は国際本部に所属しており、日本以上のコロナ禍や政治的リスクに翻弄されているこの頃です。

近年、後輩のリクルートのために年に1～2度学校にお邪

魔します。(ほぼ)何も変わっていない建築学科の校舎を訪れて懐かしいやら、大丈夫なのかと少し心配になったり。。。しかしながら、社内での高専卒業生の評判は総じて高く、大卒院卒に全くひけを取りません。在校生の皆様は呉高専で学んだことを胸に、自信を持って社会へ出て行っていただきたいと思います。明るく元気に業務に取り組んでいる後輩たちを頼もしく思っています。



機械工学科の卒業生の近況



ロボコンと町工場とYouTube

機械工学科50期 鐘ヶ江 温克

私は、2013年に機械工学科に入学し、2018年に呉高専を卒業しました。

学生時代はロボット制作部に所属しており、仲間たちと苦業を共にしたことを今でも5年前のこのように思い出せます。

思えばこの頃から、何か課題に対してアイデアを考え、物を作ることが好きだったように思います。

現在は、東京都墨田区にある浜野製作所という町工場で、試作・開発品の設計業務に携わっています。基本的には、まだこの世に無いものを作ることになりますので、正解が無く悩むことも多いですが、部署の先輩や現場の職人に支えられながら日々業務に励んでいます。

また、浜野製作所はテレビの企画に呼ばれることも多く、NHKBSプレミアムで放送された「魔改造の夜」という番組

では、『ポップアップトースターで食パンをどこまで天高く上空に飛ばせるか』という課題に挑戦し、食パンを10m近く飛ばす装置の設計に携わらせていただきました。こういった企画に参加できるのも浜野製作所の魅力の一つだと感じています。

そんな中、最近では個人でYouTubeに動画投稿も始めました。

YouTubeでは、主に「くだらないもの」を作る動画を投稿しています。

現状、驚くほど再生回数が回っていませんので、もしよろしければ「ふんいきクリエイター かねちん」と検索していただいて、動画をご覧いただけますと幸いです。

最後になりましたが、同窓会の皆様のみますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

ふんいきクリエイター かねちん
YouTubeチャンネル →→→





学生の同窓会特別表彰

令和3年度も新型コロナウイルスの影響で学生も活動の制限を受けましたが、以下の多くの活躍があり学生特別表彰を行いました。
令和3年12月末時点での表彰は以下の9点です。

令和3年度

- 大橋佐和子(建築学科5年):第21回学生限定立体アートコンペティション ポスターコンペ2021,最優秀賞/賞状+副賞(3万円)
- テニス部:第56回全国高等専門学校体育大会 テニス団体戦,準優勝/賞状+副賞(2万円)
- 小村亮世(環境都市工学科5年):第56回全国高等専門学校体育大会 テニス シングルス,第3位/賞状+副賞(1万円)
- 森川愛生(建築学科2年):第56回全国高等専門学校体育大会 陸上競技 走り高跳び,第3位/賞状+副賞(1万円)
- ロボット制作部:第34回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2021全国大会,準優勝/賞状+副賞(2万円)
- 藤野凌雅(建築学科5年),脇田美礼優(建築学科4年),岩谷香里(建築学科3年),笠江真雪(〃),築山綾花(〃),柳井美

咲(〃):第18回全国高等専門学校デザインコンペティション 構造デザイン部門,審査員特別賞/賞状+副賞(1万円)

- 小田悠人(環境都市工学科5年):第56回全国高等専門学校体育大会 水泳 男子 バタフライ100m,第3位/賞状+副賞(1万円)
- 小田悠人(環境都市工学科5年):第56回全国高等専門学校体育大会 水泳 男子 バタフライ200m,第2位/賞状+副賞(2万円)
- 三浦琴葉(環境都市工学科1年):第56回全国高等専門学校体育大会 水泳 女子 自由形 50m,第2位/賞状+副賞(2万円)



高専ロボコン全国大会 準優勝

今後も学生の更なる活躍を期待しています。

学生の課外活動状況

体育系

第57回中国地区高専体育大会(夏季大会)代替大会

下線部:全国大会出場

競技名	日程	競技会場	結果
ハンドボール	10月9日(土)	米子市民体育館	Bバート3位
水泳	代表はタイムで選考		個人:男子バタフライ100m、女子自由形50m等 2名代表
陸上	7月11日(日)	みよし運動公園 陸上競技場	個人:男子100m、女子200m等 9名代表
バドミントン	7月18日(日)代表決定戦 代替大会:中止	津山高専体育館	団体戦:男子 順位なし、女子 3位
ソフトテニス	代表者は抽選で決定 代替大会:12月5日(日)	呉高専 テニスコート	団体戦:男子 順位なし、個人戦:4名代表 個人戦:男子ベスト8、女子ベスト8等
テニス	個人代表は順位で選抜 8月9日(月)団体代表決定戦 代替大会:中止	呉高専 テニスコート	個人戦:男子シングルス等 2名代表 団体戦:男子 優勝
剣道	7月17日(土)~18日(日)	呉高専体育館	団体戦:男子 準決勝進出(4位)
バレーボール	代表は前年優勝校 代替大会:中止		男子 第2代表、女子 該当なし
卓球	8月10日(火)~11日(水)	鹿島総合体育館(松江)	団体戦:男子 予選敗退、女子 棄権 個人戦:男子シングルス ベスト16等
柔道	10月17日(日) 代表決定戦	シンヨー オークアリーナ	団体戦 3位 個人:男子個人戦81kg級、 同無差別級 2名代表
硬式野球	10月10日(日)代表決定戦	宇部高専グラウンド	2位
バスケットボール	7月17日(土)~18日(日)	大島商船高専体育館	男子 大会会場1位 女子 初戦敗退
サッカー	11月13日(土)~14日(日)	長瀬スポーツ海浜スクエア	Aバート2位

第103回全国高等学校野球選手権広島大会

7月16日(金) しなまみ球場
(2回戦敗退) 呉高専 2-7総合技術高校

第29回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会

8月24日(火)~25日(水) 会場:しあわせの村アーチェリー場 担当校:神戸市立高専
新型コロナウイルス感染拡大のため中止

第56回全国高等専門学校体育大会

(団体戦のみ記載)

競技名	日程	競技会場	結果
テニス	8月25日(水)~26日(木)	泉総合運動公園泉庭球場 シェルコムせんたい	男子団体戦 準優勝
バレーボール	12月11日(土)~12日(日)	朝日スポーツセンター 庄内町総合体育館	男子 初戦敗退
バスケットボール	11月20日(土)~21日(日)	白石市文化体育活動センター	男子 2回戦敗退

第57回中国地区高専体育大会冬季大会(ラグビーフットボール競技)

11月12日(金)~14日(日) 主管:呉高専 会場:広島県総合グラウンド ラグビー場
【Aバート】1回戦敗退

文化系

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2021 中国地区大会

10月17日(日) 担当校:大島商船高専 会場:オンライン開催
Aチーム「Legame」:賞に該当なし
Bチーム「鼯鼠物語」:優勝(全国大会出場)

第37回中国地区高等専門学校英語弁論大会

11月12日(金) 担当校:米子高専 会場:オンライン
【暗唱部門】2位 【プレゼンシングル部門】3位

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2021

11月28日(日) 会場:国技館
「鼯鼠物語」:準優勝

デザコン2021in呉 第18回全国高等専門学校デザインコンペティション

12月4日(土) 会場:呉高専 主管:呉高専
【構造デザイン部門】「繫」:審査員特別賞
【空間デザイン部門】「大きなにわ 小さなにわ」:予選通過
「地球人の住まい」:予選通過
「住み継がれるすまい×学生寮」:予選通過
「風鈴 風林 風輪」:予選通過

令和4年度の課外活動の予定(高専体育大会, ロボコン等の日程・会場)

体育系

- 第58回中国地区高等専門学校体育大会(夏季大会)
期日: 令和4年7月1日(金)~3日(日)
(水泳のみ6月24日(金)・25日(金))

種目及び会場

競技種目	会場地区	会場
バスケットボール	米子	どらドラパーク米子市民体育館, 淀江体育館
バドミントン	米子	鳥取県立米子産業体育館
テニス	松江	松江市営庭球場
バレーボール	津山	ジップアリーナ岡山
ハンドボール	津山	津山総合体育館
卓球	広島	こさかなクススポーツパークびんご 健康スポーツセンター
サッカー	広島	ZERO-BALANCE サッカーフィールド
硬式野球	呉	鶴岡一入記念球場
柔道	呉	シシヨウオークアリーナ
ソフトテニス	徳山	キリンビバレッジ周南庭球場
剣道	徳山	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター メインアリーナ
陸上競技	宇部	維新みらいスタジアム
水泳	大島	山口きらら博記念公園水泳プール

- 第58回中国地区高等専門学校体育大会(冬季大会;ラグビーフットボール)
期日: 令和4年11月11日(金)~15日(火)
会場: 島根県立浜山公園球技場(松江高専主管)

文化系

- 全国高等専門学校ロボットコンテスト2022中国地区大会
期日: 令和4年10月9日(日)
会場: 東広島運動公園体育館(広島商船主管)

- 全国高等専門学校第33回プログラミングコンテスト
期日: (本選) 令和4年10月15日(土)・16日(日)
会場: Gメッセ群馬(高崎市)
- 全国高等専門学校ロボットコンテスト2022全国大会
期日: 令和4年11月27日(日)
会場: 国技館(東京・墨田区)

- 第19回全国高等専門学校デザインコンペティション
期日: (本選) 令和4年12月10日(土)・11日(日)
会場: 大牟田文化会館(大牟田市)
- 第16回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト
期日: (本選) 令和5年1月28日(土)・29日(日)
会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・渋谷区)

- 第57回全国高等専門学校体育大会

期日: 令和4年8月20日(土)~9月4日(日)

(ラグビーのみ令和5年1月4日(水)・5日(木)・7日(土)・9日(月))

種目別の期日および会場

競技種目	競技日程	会場
陸上競技	8月20日(土)~21日(日)	愛媛県総合運動公園陸上競技場(ニンジスタジアム)
バスケットボール 男子	8月27日(土)~28日(日)	愛媛県総合運動公園体育館
バスケットボール 女子	8月20日(土)~21日(日)	愛媛県総合運動公園体育館
ソフトテニス	8月27日(土)~28日(日)	晴天時: 香川県総合運動公園テニスコート 雨天時: 高松市立仏生山公園体育館(男子) 高松市西部運動センター体育館(女子)
卓球	8月20日(土)~21日(日)	高知県立体育館
柔道	8月27日(土)~28日(日)	高松市総合体育館
剣道	8月25日(木)~26日(金)	とくぎんトモニアリーナ(徳島市立体育館)
硬式野球	9月2日(金)~4日(日)	香川県営球場(レグザスタジアム) 香川県営第2球場
サッカー	8月20日(土), 21日(日), 23日(火), 24日(水)	香川総合運動公園サッカー場 高松市立東部運動公園 りんくうスポーツ公園多目的グラウンド 三重市緑ヶ丘総合運動公園サッカー場
ラグビーフットボール	1月4日(水), 5日(木), 7日(土), 9日(月)	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
ハンドボール	9月3日(土)~4日(日)	高知県立春野総合運動公園体育館
テニス	9月24日(水)~26日(金)	大神子病院しあわせの星テニスセンター
バドミントン	9月3日(土)~4日(日)	丸亀市民体育館
水泳	9月3日(土)~4日(日)	アクアレットまつやま

令和3年度卒業生・修了生の就職・進学先

	卒業者数	就職先	進学先
本科	45	(株)HIVEC, (株)アスパーク, (株)岡山村田製作所, (株)キャストム, (株)クボタ, シャープ(株), ジャパンマリンユナイテッド(株)呉事業所, ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株), (株)大気社, 田中貴金属工業(株), 中外テクノス(株), (株)ティー・エス・ジー, 東海旅客鉄道(株), 東京ガス(株), トヨタ自動車(株), 日亜化学工業(株), (株)日本製鋼所(2), (株)ヒダン, ファナック(株), フジテック(株), プライメタルズテクノロジーズジャパン(株), (株)マイスターエンジニアリング, ムラテックCCS(株), (株)メイテックフィルダース	千葉大学工学部, 信州大学工学部, 豊橋技術科学大学(3), 岡山大学工学部, 広島大学情報科学部, 呉高専専攻科(13)
	35	KDDIエンジニアリング(株), (株)アルテクス, 海上保安学校, 関西電力(株), セイコーエプソン(株), ダイキン工業(株), 中国電力ネットワーク(株)(2), 中部電力パワーグリッド(株), 電源開発(株), 東海旅客鉄道(株), 北斗電気工業(株), 村田機械(株)	東京農工大学工学部, 豊橋技術科学大学, 大阪大学工学部, 大阪府立大学工学部, 広島大学理学部, 高知大学工学部, 九州工業大学情報工学部(2), 九州大学工学部, 呉高専専攻科(10), 代々木アニメーション学院東京校, 広島情報ITクリエイター専門学校
	41	大阪ガス(株), 関西電力(株), 極東興和(株)(2), 呉市役所, 国土交通省中国地方整備局, 五洋建設(株)(2), (株)シーエム・エンジニアリング, ショーボンド建設(株), 大成建設(株), 中国電力(株), 東亜建設工業(株), 東京電力(株), 西日本高速道路エンジニアリング中国(株), (株)ピーエス三菱, 広島市役所(3), (株)増岡組, メタウォーター(株)	北海道大学工学部, 長岡技術科学大学(5), 広島大学工学部, 島根大学生物資源科学部, 九州大学工学部, 熊本大学工学部, 呉高専専攻科(8), 穴吹デザイン専門学校(2)
	45	JFEシビル(株), (株)NTTファシリティーズ, (株)アルモ設計, 大阪ガス(株)(2), (株)大林組, 社会福祉法人かしの木, 鹿島クレス(株), 広成建設(株), 三建設工業(株), ダイキンエアテック(株), 東海旅客鉄道(株), 東京ガス(株), (株)西建設設計, 錦建設(株), 西日本高速道路(株), 西日本旅客鉄道(株), (株)ピーエス三菱, (株)フジタ, 三菱地所コミュニティ(株)(2), 森トラスト(株)	千葉大学工学部, 横浜国立大学都市科学部, 島根大学総合理工学部, 香川大学創造工学部, 九州大学工学部, 呉高専専攻科(15), トライデントコンピュータ専門学校
専攻科	27	ENEOS(株), (株)GSユアサ, (株)HIVEC, (株)IHIインフラシステム, NEC ネットウエスアイ(株), NTT東日本グループ会社, いであ(株), 川田建設(株), (株)キャストム, グロープライド(株), サムコ(株), ダイキン工業(株), 田中電機工業(株), 中電技術コンサルタント(株), 日東電工(株), 広島市役所(2), (株)福山コンサルタント, 防衛省, (株)マツダE&T, マツダ(株)	北海道大学大学院工学院, 東北大学大学院工学研究科, 筑波大学大学院理工情報生命学術院(2), 総合研究大学院大学物理科学研究科, 長岡技術科学大学大学院工学研究科, 広島大学大学院工学研究科, 広島大学大学院先進理工系科学研究科(4), 早稲田大学大学院情報生産システム研究科